

テーマ	ファーストレベル				
領域	認定看護管理者教育課程	会場	看護研修センター	受講料	会 員 123,420 円 非会員 246,840 円
対象	受講要件：1. 日本国の看護師免許を有する者 2. 看護師免許を取得後、実践経験が通算 5 年以上ある者 3. 管理業務に関心がある者 募集数(70 人)応募数(88 人)受講者数(73 人)会員数(73 人)非会員(0 人)				
日時	令和 5 年 7 月 27 日 (木曜日) ～10 月 11 日 (水曜日) 9:30～16:30 (23 日間)				
ねらい (目標)	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する。 1. ヘルスケアシステムの構造と現状を理解できる。 2. 組織的看護サービス提供上の諸問題を客観的に分析できる。 3. 看護管理者の役割と活動を理解し、これからの看護管理者のあり方を考察できる。				
講師	1. ヘルスケアシステム論 I 平澤則子 他 2. 組織管理論 I 渡邊タミ子 他 3. 人材管理 I 田中幸子 他 4. 質管理 I 上谷いつ子 他 5. 資源管理 I 木村憲洋 他 6. 統合演習 I 河野秀一 他				
内容・方法	内容：新潟県認定看護管理者教育課程カリキュラム基準【教科目および時間数】を基に作成した。1. ヘルスケアシステム論 I 18 時間 2. 組織管理論 I 18 時間 3. 人材管理 I 30 時間 4. 質管理 I 18 時間 5. 資源管理 I 15 時間 6. 統合演習 I 15 時間 総時間 114 時間。 他に、特別講義 21 時間 (問題解決 12 時間、小論文の書き方 6 時間、文献検索 3 時間)。 方法：講義と演習 原則集合研修としたが、新型コロナウイルス感染症の感染等によりオンライン研修とのハイブリット型研修とした。				
結果・評価 (受講者の 意見感想含む)	評価方法：教育課程修了者数及び受講者アンケート ・修了者数：今年度受講者 73 名中 72 名が修了要件を満たし修了と判定された。1 名は履修時間不足の教科目があるため修了要件を満たさず、次年度再受講する予定。 ・受講者アンケートの結果：課題の達成度は「達成・ほぼ達成」が94%、満足度は「満足・ほぼ満足」が100%であった。受講者の記述から「問題や原因の深掘りの仕方を試行錯誤しながら学ぶことができた」「曖昧に解釈していたことが明確になった」「様々な知識を学び実践で活かすことができると思った」「講義だけではなく、グループワークを通して自分の考えを整理でき、課題も見つかった」「他施設の人達と意見交換することで自分では思いつかない意見や、参考となる意見が聞けた」など多くの気づき・学びに繋がったと考える。 ・「統合演習 I」では「問題意識チェックシート」に沿って考え問題を明らかにした後「分析シート」へ移行するが、重複する項目があり時間を要した。2つの問題解決のための分析シートの統合を考える。				
企画の評価 【目的・目標・内容・プログラムの 妥当性】	研修内容は、日本看護協会「認定看護管理者教育課程カリキュラム基準」に則っており妥当である。 プログラムは、組織管理論「組織とは何か」から開始し、人材管理、質管理、資源管理、ヘルスケアシステム論と進めた。プログラムの終盤に統合演習を設定し、学んだ理論や分析ツール等を実際に活用し自部署の問題に対して本質を捉えた具体的な解決策を立案できるように組み立てた。担当講師は、各教科目の専門分野の大学教授や認定看護管理者等に依頼した。教科目別アンケートでは、「内容を理解できた」の問いに対して「とてもそう思う・そう思う」と回答した割合が、ヘルスケアシステム論 I 99%、組織管理論 I 96%、人材管理 I 99%、質管理 I 99%、資源管理 I 98%、統合演習 I 100%と高かった。以上によりプログラムも妥当であったと考える。				
今後の課題	・「統合演習 I」における問題解決のための分析シートの検討 ・今後、認定看護管理者制度の改正が予定されている。早期に情報収集し、目的・目標の達成に向け、プログラムの作成と講師依頼を進める。				
担当者	専任教員				